

【出品リスト】

作者名	作品名	制作年	技法 形状	寸法 (cm)	初出展覧会
小島 丹漾	北国の春信	1971 (昭和 46)	紙本着色 額装	175.5 ×229.0	再興第 56 回院展 奨励賞 無鑑査推挙
小島 丹漾	雪祭の夜	1974 (昭和 49)	紙本着色 額装	84.5 ×100.0	第 29 回春の院展
小島 丹漾	昼 (漁港)	1974 (昭和 49)	紙本着色 額装	172.5 ×224.0	再興第 59 回院展 日本美術院同人推挙
小島 悦子	海に見える 風景		紙本着色 額装	124.8 ×95.0	再興第 52 回院展 奨励賞
小島 悦子	雑木林の街 並み (仮題)	1964 (昭和 39)	紙本着色 額装	141.3 ×171.4	再興第 50 回院展 院友推挙作品
※ 小島 丹漾	凍 (吹雪)	1967 (昭和 42)	紙本着色 額装	173.5 ×220.5	
※ 小島 丹漾	北国の人	1970 (昭和 45)	紙本着色 額装	173.8 ×221.0	再興第 55 回院展

※は 1 階・市民ギャラリーで展示 (3 月 12 日まで)

2013 年度 コレクション展 IV

小島 丹漾・悦子



小島丹漾「北国の春信」

新潟市 新津美術館 TEL. 0250-25-1300

〒956-0846 新潟市秋葉区蒲ヶ沢 109-1 花と遺跡のふるさと公園内

<http://www.city.niigata.lg.jp/nam/>

2014 年 1 月 25 日 (土) ~ 3 月 23 日 (日)

月曜休館 (3 月 17 日は開館)

開館時間 10:00~17:00

新潟市出身の日本画家・小島丹漾と、娘・小島悦子の作品を展示します。

小島 丹漾（こじま たんよう） 1903～1975
（明治35～昭和50）

1902（明治35）年、新潟市古町に生まれる。本名・泰吉。父は、横山大観に師事し前期日本美術院に参加していた日本画家・阿部蘇春であるが、母方の小島姓を継ぐ。16歳で上京、染織の図案家を志し三越デパートに入社。その後独立し染物屋を経営するも、日本画家に転向。父の友人・大智勝観に入門し、丹漾の号を授かる。

1929（昭和4）年、再興第16回院展に《立秋》で初入選するが、その後は落選が続く。一時新潟に帰り、津川町の山中で炭焼きをしながら創作活動を続ける。1936（昭和11）年から入選が続き、37年院友に推挙される。戦争が激しさを増すなか三川村へ疎開し、その後新潟市白山浦に居を構える。戦後は家族を残して単身上京し制作に没頭した。

故郷新潟の風土と北国の人々の生活をテーマに出品し続け、力強い線描を用いた作風へと変化した1957年から、63年、64年、65年、66年、67年、68年、69年、71年、72年、73年と奨励賞を受賞し続け、1971年に無鑑査推挙、74年に日本美術院同人に推挙される。1975

（昭和50）年、再興第60回院展に《白炎浄土（北越雪譜・吹雪の章）》を出品。高い評価を得るが、院展終了後、新潟への帰郷中に73歳で歿。

小島 悦子（こじま えつこ） 1941～
（昭和16～）

1941（昭和16）年、新潟市に生まれる。再興院展で活躍した日本画家・小島丹漾の長女。1959（昭和34）年から3年連続、新潟県展で奨励賞を受賞。1961（昭和36）年《木立》で再興第46回院展に初入選。その後、1963（昭和38）年に《春光》が、1965（昭和40）年には《夕》が入選し院友に推挙される。

23歳でイギリスに渡り、オックスフォードに住む。渡英後しばらく院展に出品し、1971（昭和46）年に《オックスフォードの祭》、1973（昭和48）年《南島の娘達》、1974（昭和49）年《祭りの夜（イギリス）》が入選。その後、ロンドンに移り、現在はリッチモンドに在住。